

❖ 腹部超音波検診を受診される方へ ❖

◇ 腹部超音波検診とは？

人の耳に聞こえない1万6千ヘルツ以上の周波数を持つ音（超音波）の反射を利用して、内臓を画面に映し出す検査です。

体に害をあたえることなく、臓器の腫大や萎縮、結石、腫瘍などの診断に役立てることができます。

今回の検診では「肝臓」「胆のう」「膵臓」「腎臓」「脾臓」の検査をします。

◇ 受診の際のご注意

1 検診前夜

- * 検診受付時間の10時間前までに食事を摂り、それ以降の食事はしないでください。
- * 服薬や熱中症予防のための飲水は、検診受付時間の2時間前までであれば、差し支えありません（コップ1杯程度）。

2 検診当日

- * 起床後は、検診が終了するまで飲食（飴、ガム、コーヒーなどを含む）はしないでください。

ご注意ください！ **飲食をされた場合、検査は受けられません。**

なお、常用しているお薬の服用については、次の表を参考にしてください。

薬の種類	当日の服用	服用方法
糖尿病薬 (血糖降下剤、インスリン)	×	絶対に飲まないでください。 (低血糖発作の危険があります)
その他の常用薬 (血圧・心臓の薬など)	○	コップ1杯(200ml)程度の水で服用してください。 (血圧・心臓の薬は原則として服用してください)

3 その他

- * 女性の方はバスタオルを胸にかけますのでご持参ください。
- * 同日に胃がん検診を受診される方は、腹部超音波検診を先に受診してください。
(バリウムの影響のため、検診ができなくなります。)

◇ 検診の受け方

- 1 上半身の衣服を脱ぎ、ベッドにあお向けになります。
- 2 お腹に超音波の通りをよくするゼリー状の液体を塗り、プローブ（超音波を出す装置）をあてて検査します。
- 3 検査中は必要に応じ、呼吸の調節や体の向きを変えていただきます。

◇ 検診結果について

- 1 検診の結果は、実施主体（市町村や事業主）よりお手元にお届けします。
- 2 『要精密検査』の通知を受けた方は必ず精密検査を受けてください。
- 3 検診ですべての異常が発見できるわけではありません。発生する部位や大きさにより、発見できない場合もあります。気になる症状や不安なことがありましたら、医療機関にご相談ください。
- 4 消化管内のガス、皮下脂肪、内臓脂肪、あるいは息止めができないなどの理由で見えにくい臓器があった場合は、“十分に検査できなかった臓器”として臓器名をお知らせしています。

◇ 他^の検査（MRI、CTなど）でなければ判断することができない場合もあります。

◇ つぎに該当する方は、直接医療機関での検査をおすすめします。

- * 現在、肝臓・胆のう・膵臓・腎臓・脾臓の病気を治療中または経過観察中の方
- * 自覚症状がある方
- * 毎回精密検査を指示される方

◇ その他ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。



当協会のホームページから
腹部超音波検診の詳細な内容
をご覧ください。



けんこうリンク

公益財団法人 茨城県総合健診協会

〒310-8501 水戸市笠原町489-5

TEL029-241-0011(代)

FAX 029-241-0332